

RATINGS, AWARDS, AND RECOGNITION

外部格付・表彰一覧

2015年10月にIR部を、2016年10月にESG推進部を設置し、機関投資家の皆さまとの対話や情報開示を強化しています。また、多様性推進やウェルネス(健康)経営を中期経営計画に掲げることで、企業価値向上につなげています。

世界的な社会的責任投資指標



日本の小売企業で唯一となる「Dow Jones Sustainability World Index」の構成銘柄に初めて選定。アジアパシフィック地域の構成銘柄「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」に2年連続で選定。



ESGの側面における取り組みや情報開示に優れた企業を選定する「The Sustainability Yearbook」に小売セクター唯一の日本企業として2年連続で選定。さらに、「Bronze Class」および「Industry Mover」にも認定。



FTSE Russellによる、ESGに関する評価基準を満たす企業で構成される「FTSE4Good Index Series」に3年連続で選定。



世界的なESG株価指数として認知度の高い「MSCI ESG Leaders Indexes」構成銘柄に選定。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社が独自に設定する「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に2年連続で選定。同インデックスは、調査会社によるESG評価を重視する運用プロダクト「SNAMサステナブル運用」に活用される。

JPX日経インデックス400

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸条件を満たした「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数に選定。

GPIFが選定する4つのESG指標



FTSE Blossom Japan

ESGに関する多様な基準を満たしている企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、業種ニュートラルになるように設定されているESG指標「FTSE Blossom Japan Index」に3年連続で選定。



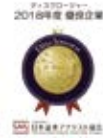
日本株の時価総額上位500銘柄のうち、MSCIのESG格付けが最も低いCCC銘柄などを対象外とし、各業種の中から格付けが相対的に高い銘柄を選別して構成するESG指標「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」に3年連続で選定。



日本株の時価総額上位500銘柄のうち、国際産業分類基準における各業種の中で、性別多様性に優れた銘柄を対象に構築されたESG指標「MSCI日本株女性活躍指数」に3年連続で選定。



TOPIXの構成銘柄を対象とし、環境情報の開示状況と炭素効率性の水準(売上高当たり炭素排出量)によって構成銘柄のウェイトを決定する「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」に初めて選定。



証券アナリストによる「ディスクロージャー優良企業選定」にて、小売部門の対象22社のうち、5つの評価項目中3項目で第1位に選定され、2度目の第1位を受賞。



デジタル化を推進するグループ横断的組織体制と、当社グループがめざす「すべての人に金融サービスを提供するファイナンシャル・インクルージョン」や働き方改革に向けたIT活用の取り組みなどが評価され、「攻めのIT経営銘柄」に初めて選定。



「TCFD」の提言に賛同するなど、気候変動に対する取り組みと情報開示が国際的に高いレベルにあると評価され、日本の小売業界で初となる、最高評価の「気候変動Aリスト」企業として認定。

気候変動インデックスSTOXX

2016年に開発された低炭素インデックスシリーズの一つであり、CDPのAリスト企業を採用した世界初のインデックスである「STOXXグローバル気候変動リーダー」の構成銘柄として初めて選定。

AWARDS



当社グループが設定した温室効果ガス削減目標が、「パリ協定」の「2°C目標」を達成するために科学的に根拠ある水準と認められ、日本の小売業で初めて、「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得。



再生可能エネルギーによる電力調達を用途とするグリーンボンドを国内で初めて発行した取り組みが評価され、「ジャパン・グリーンボンド・アワード」にて、「ジャパン・グリーンイノベーション部門」の環境大臣賞を受賞。



RE100への加盟や、再生可能エネルギーの導入をグループ一体で進めている取り組みが評価され、「サステナブルファイナンス大賞」にて優秀賞を初受賞。

第22回環境経営度調査

日本経済新聞社が1997年から年1回実施している、企業の環境対策と経営を両立させる取り組みを評価する調査で、丸井グループは「環境経営推進体制」「汚染対策・生物多様性対応」「温暖化対策」の3項目で満点となり、「小売り・外食」部門にて2年連続で1位を獲得。



社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業として、組織体制や施策実行などの取り組みが小売業種で最も高く評価され、「健康経営銘柄2019」に2年連続で選定。



理念の実現に向けて「多様性推進」を経営戦略の一つとして掲げ、風土づくりや制度改革を推進。新サービス創出などにつなげて、企業価値の向上を実現している点が評価され、「新・ダイバーシティ経営企業100選プライム」に初めて選定。



女性活躍の土台づくりとして、働き方改革を全社的に実施したことや、証券事業に新規参入し、グループ初の女性社長が誕生したことなどが評価され、「なでしこ銘柄」に2年連続で選定。

均等・両立推進企業表彰

女性活躍の取り組みの進捗状況を測る「女性イキイキ指数」を設定し「見える化」を推進した結果、女性の職域が拡大し、女性管理職も増加していることなどが評価され、「均等・両立推進企業表彰」の均等推進企業部門で「厚生労働大臣優良賞」を初めて受賞。



「男性社員の高い育児休業取得率」「平均残業時間の短さ」「年齢・性別などにかかわらず受けられるキャリア教育の機会」などが高く評価され、「共働き子育てしやすい企業2019」にて初めてグランプリを受賞。

RECOGNITION



「配偶者向け人事制度」を事実婚や同性パートナー婚にも適用拡大したことや、LGBT関連を含む幅広い相談ができる社外相談窓口の設置などが評価され、「PRIDE指標」にて最高評価「ゴールド」を2年連続で受賞。



tsumiki証券(株)CEO 寒竹 明日美が、「Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2018」にて、女性が少なかった分野で先駆者として最前線で活躍している女性を表彰する「個人部門・先駆者賞」を受賞。



米国2大レポートコンペティションの一つ「2018 Vision Awards」にて、「VISION BOOK 2050」がゴールド賞をはじめとする5つの賞を、「共創経営レポート 2018」がシルバークラウド賞をはじめとする4つの賞を受賞。



米国の独立評価機関MerComm, Inc.が毎年主催する世界最大の年次レポートコンペティション「International ARC Awards 2019」において、「VISION BOOK 2050」が、Specialized Annual Reports部門 Sustainability Report: Asia, Mid-East & Pacificカテゴリーにて銀賞を受賞。

優れた統合報告書

丸井グループの統合報告書「共創経営レポート 2018」が、独創性が高く、社長メッセージを含め、めざす方向性がはっきりしている点などが高く評価され、GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に3年連続で選定。

日経アンリアルレポートアワード2018

丸井グループの統合報告書「共創経営レポート 2018」が、「トップマネジメントのメッセージ」「ファイナンシャル・サステナビリティへのアピール度」の2項目で高く評価され、前年の優秀賞に続き、特別賞を受賞。

統合報告優良企業賞

丸井グループの統合報告書「共創経営レポート 2018」が、WICIジャパンが「統合報告(Integrated Reporting)」の普及活動推進を目的に行っている表彰「統合報告優良企業賞」にて、統合報告奨励賞を受賞。

格付投資情報センター(R&I)

金融債務についての総合的な債務履行能力に対する格付けとして、A-の評価を獲得。

各評価の詳細やその受賞の内容はホームページにてご覧いただけます。
www.0101maruigroup.co.jp/ci/award.html

